

令和3年度2学期終業式（令和3年12月24日）

皆さん、おはようございます。

今日で2学期が終わります。今日の終業式は、3年生だけですが、校内テレビ放送ではなく、直接、話すことができ、大変嬉しく思います。

さて、今年も残すところ、あと7日となりましたが、皆さんにとって、どんな1年だったでしょうか。今年も、新型コロナウイルス感染症の影響で、体育祭や3年生の修学旅行が中止になったり、分散登校で家で過ごす時間が長くなったりしましたが、9月はオンライン学習、11月は文化祭、そして、就業体験、職場実習などに取組むことができ、寄宿舎ではセルフスタディを行うこともできました。

それでは、この1年を、今度は、校長先生が皆さんに伝えた話や言葉で、振り返ってみたいと思います。

1学期の始業式では、「しな・さい」と言われてからするのではなく、「する・ぞう」と思って自分からする人になってほしいと、動物で言うなら「サイ」ではなく「ゾウ」になってほしいと伝えました。

1学期の終業式では、人から言われたり注意されたりして、何かをするのではなく、今、すべきことは何かを自分で考え、実行できる人、つまり、自分の意志で行動する格好よく・素敵な大人になってほしいと伝えました。

2学期の始業式では、東京オリンピックで感じたことで、「練習していないことは、本番ではできない」という話をして、将来に向かって努力を続けることができる人・備えることができる人になってほしいと伝えました。

10月の全校集会では、「看板を背負う」という言葉を使って、文化祭では「学年」、サッカー部は「福岡県代表」という「看板」に恥じないように、役割と責任を果たす努力をしてほしいことを話して、「看板を背負う」という意識は、将来も必要になるので、忘れないでほしいと伝えました。

ところで、サッカー部は、沖縄県で開催された九州地区予選会を突破して全国大会に出場します。「九州代表」という、さらに大きな看板を背負ったので、サッカー部の皆さん、その「看板」に恥じるのではないような振る舞いを、普段からしてください。

色々ありましたが、覚えている話や言葉はありましたか。

この後、通知表をもらうと思いますので、その通知表を見て、皆さんも、自分なりに、2学期やこの1年を振り返って、どうだったかを考えて、そして、次に向けて、どうしていくのかということを決めてほしいと思います。

もうすぐ、令和3年（2021年）が終わり、新しい年である令和4年（2022年）がやって来るこの年末年始に、是非、「振り返り」と次の「目標決め」をしてほしいので、このことを、校長先生から皆さんへの冬休みの課題にしたいと思います。

最後に、この写真を見てください。これは3年生が家庭科の調理実習で作ってくれた「肉じゃが」で、校長先生も頂きました。とても美味しかったです。でも、その味よりも何よりも、これを私に食べてほしいと思ってくれた3年生の皆さんのやさしい気持ちや心配りが一番嬉しかったことです。是非、皆さんも「誰かのために」ということを大切にしてほしいと思います。



「友達のために」「仲間のために」「家族のために」「人のために」「クラスのために」「チームのために」「学校のために」など・・・自分なりの「〇〇のために」ということを常に考えて行動してみてください。きっと、自分のためにという時より、もっと嬉しく、温かな気持ちになることができると校長先生は信じています。

明日から、冬休みです。友だちや家族、そして、普段あまり会わない親戚の方などと過ごしたり、街やお店に出掛けたりする機会も多くなると思いますので、これまで通り、感染予防を続け、コロナに気付けて過ごしてください。

それでは、1月12日 水曜日の3学期の始業式に笑顔で会いましょう。

これで、2学期 終業式の校長先生の話を終ります。